

### サスペンションのおはなし その3

MINIのサスペンションについて、何回か詳しく書いてきました。ご自身のMINIと比べて何か思い当たること・・・ありませんでしたか???

MINIの特徴について、「クイックなハンドリング」「ゴーカートのように曲がりキビキビ動く」のようによく言われます。実は、そこからして大きな勘違いなのです。MINIは本来、適切なメンテナンスをしていけばしなやかに滑らかに走るものです。いつハンドルをきり始めてコーナーを抜けたのか? いつブレーキングしていつギヤチェンジしたのか? コキコキした動きはありません。唐突な動きがなく、実に乗り味にクセのない車です。

ですから路面状況を選びません。ターマック(舗装)、グラベル(非舗装)、晴れていても、雨が降っても、雪の日でも。拾った情報を的確にドライバーに伝えてくれます。このようなMINIのサスペンション特性を引き出す為に、タイヤ(+ホイール)はサスペンションと切っても切れない間柄です。選ぶ時には十分に考えて選ぶ必要があります。それは雰囲気や見映え、感覚の問題ではなく理論に基づいているのです。例えば太いタイヤを履くと、タイヤの接地面積は当然広くなります。対して路面へ伝える動力が変わらなければ、接地圧は下がりグリップが低下します。ホイールを外側へ出すこと(プラスオフセットの状態)も同様です。そもそもホイールは、サスペンション設計の中で動力が入力される中心点を基準に作用して(てこの原理の応用です)、タイヤにグリップを与えるように考えられています。ホイールが外へ向かって出れば出る程、てこのバランスが崩れることになります。結果乗りづらくなったり不安定になります。滑り易い路面ではブレーキ性能まで低下します。つまり1つを大きく変えたら関連する各部位も見直す必要があるわけです。適正な(基本に沿った)セッティングを施すことによって、不安定感は解消され特有の滑らかな乗り味が実現します。

例を1つ挙げましょう。12インチハイグリップタイヤを履いたMINIから、10インチ標準タイヤ・トレッドのMINIに乗り替えてみると何となく頼りない感じが一瞬、します。でも何度かハンドルをきり、ブレーキを使ううちに、各動作が軽やかで以外としっかり走れることに気がつきます。雨の日でも、ワインディングでも幅広い対応と安定感をもたらしてくれます。10インチでも12インチでも"MINI"には変わりないんです。それぞれに乗り味が違い長所/短所があるわけで、10インチでも12インチでも理屈と特性を理解して、乗り方に合わせた選択をすればよいのです。

お客様に楽しく、快適にMINIに乗って欲しい! そしてお客様の大切なMINIを善いコンディションに保ちたい! スペシャルショップとしていつでも適切なアドバイスができるように、またメカニックとしてより高いレベルで車を知る為に、ドライビングテクニックを高い水準に保つ努力も忘れていないつもりです。乗れなければ、その乗り味を再現する事は不可能だからです。

いつでも、乗って納得できるMINIをご用意してお待ちしております。グレイスのMINIに乗ってみて下さい。

—— 次号 No.81へつづく ——

#### SALE

'66y Morris Cooper Mk-I P.O.A

レストレーション作業中

'70y BLMC Mini Cooper 'S'Mk-III

'68y Morris Mini Traveller Mk-II

'90y Mini Mk-III 1000 'S'(Grace Special)

 **garage Grace**  
*Classic Mini Specialist*

1550-2 Kamigou-cho Sakae-ku Yokohama 247-0013

Tel:045-894-6690 Fax:045-895-1494 月曜定休

ご質問・ご相談は、お気軽にお問い合わせ下さい。ホームページも是非ご覧下さい。

—— [www.garage-grace.com](http://www.garage-grace.com) ——